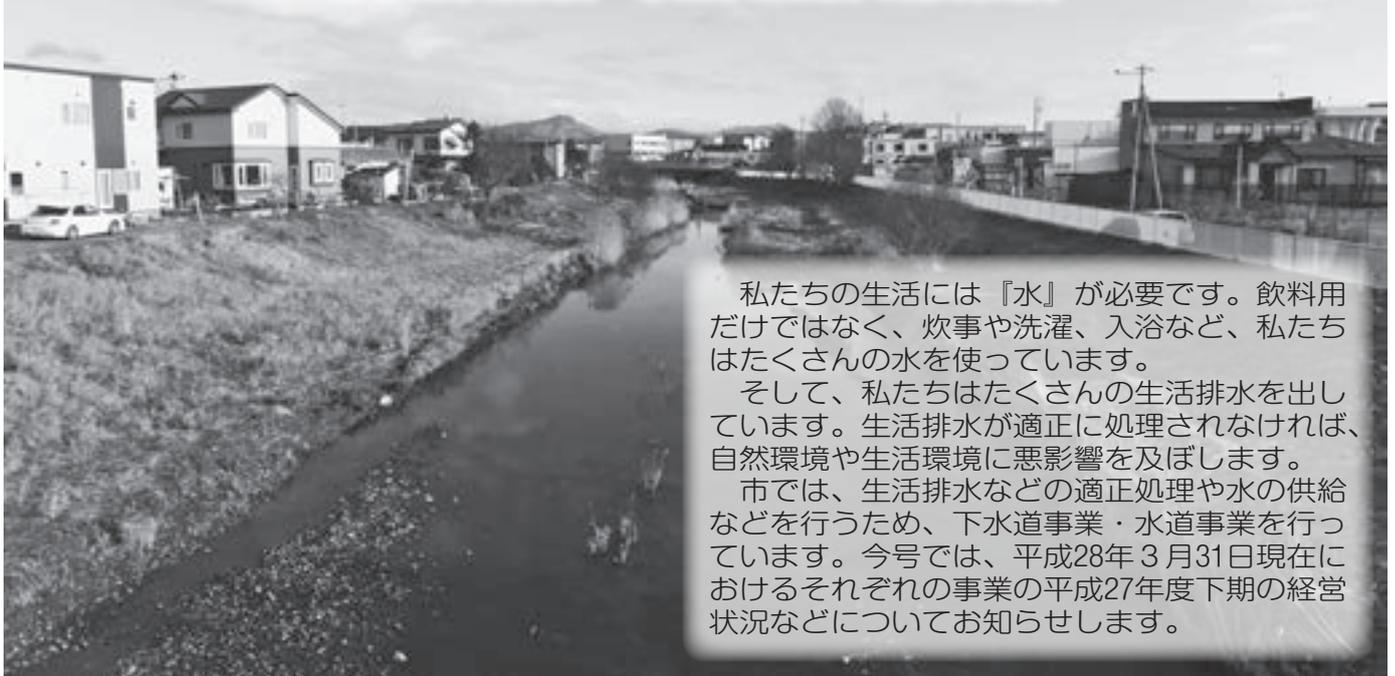


特集

# 未来に続く きれいな川とおいしい水

～下水道事業会計・水道事業会計の財政公表～



私たちの生活には『水』が必要です。飲料用だけではなく、炊事や洗濯、入浴など、私たちはたくさんの水を使っています。

そして、私たちはたくさんの生活排水を出しています。生活排水が適正に処理されなければ、自然環境や生活環境に悪影響を及ぼします。

市では、生活排水などの適正処理や水の供給などを行うため、下水道事業・水道事業を行っています。今号では、平成28年3月31日現在におけるそれぞれの事業の平成27年度下期の経営状況などについてお知らせします。

## 下水道事業の概況

### 水洗化率・浄化槽設置基数は共に増加

下水道事業では、各家庭から排出される排泄物や生活排水（食器洗いや洗濯などに使った水など）を周辺環境に悪影響を与えることなく処理し、市民の皆さんに衛生的に生活していただくとともに、大雨などによる浸水災害の発生を未然に防ぐことを目的に、下水道や浄化槽の整備を行っています。

市の下水道事業では、公共下水道事業と個別排水処理施設事業を行っています。

このうち、公共下水道事業は、各家庭から排出される生活排水などを処理するため、主に市街地において、生活排水を処理場に運ぶための下水道管（污水管渠）や処理場（若山浄化センター）の整備を行うとともに、大雨時の浸水対策として、雨水を河川などに排出するための下水道管（雨水管渠）の整備を行っています。個別排水処理施設事業では、下水道管を整備していない地域で、市民の皆さんの希望に応じて、各家庭に浄化槽（生活排水などを浄化して川などに排出するための設備）を整備しています。

下水道の整備により、平成27年度末で、市街地に住む方の95・7割が下水道を利用して生活排水などを排出できる環境にあり、そのうち86・6割にあたる4万1千110人の方が、実際に下水道を利用しています。また、市街地以外の地域では、66戸の家庭が、市の設置する浄化槽を利用しています。

#### 平成28年3月末時点における公共下水道の整備状況

区分	平成27年3月末	平成28年3月末	平成27年度増減
処理人口普及率	95.7 <sup>パーセント</sup>	95.7 <sup>パーセント</sup>	±0.0 <sup>パーセント</sup>
水洗化人口	41,607人	41,110人	▲497人
水洗化率	86.5 <sup>パーセント</sup>	86.6 <sup>パーセント</sup>	+0.1 <sup>パーセント</sup>

※処理人口普及率は、市人口に占める供用開始人口（下水道を利用できる地域に居住する市民）の割合。  
※水洗化人口は、生活排水などの排出に下水道を利用している市民の数。  
※水洗化率は、水洗化人口を供用開始人口で除した数値。

#### 平成28年3月末時点における浄化槽の設置基数

区分	平成27年3月末	平成28年3月末	平成27年度増減
設置基数	62基	66基	+4基

※設置基数には、個別排水処理施設事業開始以前に利用者が設置し、事業開始後に市が受贈したものを含む。